



ふかや

市議会だより

●12月定例会

保育時間が一部延長 ②

その他・採決表 ④

市政のここが聞きたい ⑤

行政視察など ⑬

ボランティアさん紹介 ⑭

No.33

2014.2.1

落成式



(裏表紙参照)

平成25年第4回定例会は11月25日に開会し、12月13日までの19日間の日程で開かれました。今議会では、条例の一部改正6件、条例の制定1件、補正予算6件、そのほか8件の計21議案が市長から提出されました。また、議員提出議案2件及び請願2件を審議しました。

主な質疑

市立保育園の保育時間を月曜日から土曜日まで一律午前8時30分から午後5時までとするため

通常の保育時間は午前8時30分から午後5時までと規定している。働いているかたのため延長保育という時間を設けている。

影響はない。私立保育園に保育時間延長の働きかけをするのか。現在、土曜日の保育時間にはばらつきがある。正午までの保育園については働きかける。

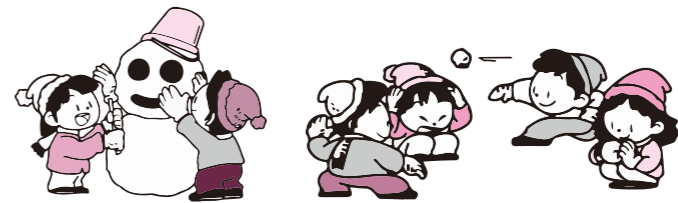
土曜日の保育時間は午前8時30分から正午までであったが、改正されると平日と同じ午後5時までとなる。働いているかたのことを考えると少し早いのでは。

延長保育を実施している。延長保育により保育料に影響

学童保育室条例の一部改正

民間で運営されていた学童保育室を新たに深谷市立川本北学童保育室として設置するため

討したが、土地・建物とも市の財産のため、任意団体による増築が困難な点。学童の受け入れの際、保護者会で審査をする必要がある点などから要望に至った。



民間から公立となるのは逆行していないか。

公立化は保護者会の総意なのか。

現在の職員の処遇は。職員2名、臨時職員3名は、保護者会で話し合いの上、希望し条件が合えば公立学童の臨時職員として勤務は可能である。

運営母体の保護者会から要望が出たためである。

9月に要望書が提出され、10月市より設置の回答。その後、10月19日臨時総会で保護者会の総意として公立化が承認された。

学童希望者の増により保護者会で建物の増築を検討

公立化は保護者会の総意として承認された。

協働推進部を新しく設置 市民との協働どう進める?



ふかや緑の王国

補正予算

中心市街地商業活性化推進事業

事業費の内訳は。緊急雇用の補助事業であり、新規の雇用が条件で2人の新規雇用を予定している。それを雇う側の人件費も含め合計で全体の二分の一以上であることが必須条件で、事業を実施するにあたり必要な諸費用を合わせ219万3千円を上限としている。

平成26年度に残りの2億9515万円を支払う。公共下水道の基金を取り崩して出資を見込み、残りの1億4515万円のうち、企業債を1億4410万円借り入れ、内部留保105万円支出する。差し引いた残りを下水道整備ということで繰出金590万円計上した。メガソーラー設備を設置した場合、20年間の利益合計は、約5億3千万円で15年ほどで工事費を解消できる見込みである。

債務負担行為補正

市営上柴住宅浴室及びトイレ改修工事設計業務委託は、市営住宅長寿命化計画によるものようだが、内容は。浴槽・風呂釜を設置しトイレを洋式に変更する。玄関、浴室の浴槽部分、トイレの3か所に手すりを設置するための設計業務。

業務委託の内容は。深谷ベース及び商店街ホームページの開設、にぎわいシンポジウムの開催、商店街個店のPRビデオ作成、市民協働によるマップの作成、まち中アート等のソフト事業である。

公有財産取得事務費。場所と内容は。関越花園インター東京側の橋の上流で、面積は9720.94平方メートルで合併時に公園として引き継いだ。そのうち高速道路拡幅にかかる部分が650平方メートルある。

設計業務については、今年度中に発注し、平成26年5月から6月くらいに設計業務を完了させ、その後工事発注を行い平成26年度中に完成させる予定である。

協働推進部を新しく設置

新年度より

緑の王国 財産の取得・条例の制定

平成20年4月より県から5年間無償で借り受けていた旧埼玉県農林総合研究センター深谷試験地を深谷市が取得するもの。

- 1. 財産の種類 土地及び建物
2. 土地の所在 深谷市榊引24番1ほか40筆
3. 土地の面積 47,825.88平方メートル (約4.8ヘクタール)
4. 取得金額 80,979,150円

今後市が建物等の解体撤去する費用を考慮し取得金額と解体撤去費用分を相殺。そのため、実際に県への支払いはない。

条例の要約

- *設置目的 (第1条) 市民に自然との触れ合いや憩いの場を提供するとともに、市民との協働による花と緑のまちづくりの推進を図る。
*休所日 (第3条) 1/1~3、12/29~31
*利用時間 (第4条) 4/1~9/30 午前9時から午後6時まで
10/1~3/31 午前9時から午後5時まで

下水道事業会計繰出金について、説明を。請負代金が4億4515万円の2か年事業で、平成25年前払金1億5千万

旧花園町から土地開発公社が引き継いだものを、市が取得するのか。合併で引き継いだ時に土地開発基金で該当の土地を公園用地として所有して



上柴市営住宅 現況

「債務負担行為について」...予算は単一年度で完結するのが原則ですが、例外として将来にわたる支払い義務に対応するため、あらかじめ後年度の債務を約束する(1)です。

市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

質問項目一覧

《通告順》

●永田 勝彦

- ①深谷市上原北部地区排水路について
- ②花園インターチェンジ拠点整備プロジェクトについて

●加藤 利江

- ①「赤ちゃんに家庭を」特別養子縁組について
- ②花園IC拠点整備プロジェクトについて

●清水 健一

- ①子どもたちの未来のために
- ②「全員参加の社会」の実現について

●吉田幸太郎

- ①小島市政2期目に向けての考え
- ②花園IC拠点整備プロジェクトについて

●松本 政義

- ①花園IC拠点整備プロジェクト

●武井 伸一

- ①市が積極的にスポーツ振興を

●為谷 剛

- ①人口減少時代の都市再編

●清水 修

- ①高齢者など交通弱者の足の確保について
- ②開発行為などによる市民の不安解消対策について
- ③国保加入者の保養について
- ④生活保護行政について

●清水 睦

- ①住宅リフォーム助成制度について
- ②介護保険改正について
- ③県道深谷寄居線の藤沢地区の信号機について

●五間くみ子

- ①高齢者福祉施策について

●加藤 温子

- ①東京オリンピック・パラリンピック開催決定。深谷市の対応・対策、おもてなしの考えについて
- ②全国学力テスト、深谷市の現状について

●田島 信吉

- ①公の施設の相互利用について
- ②補助金の見直しについて

●三田部恒明

- ①公共施設での無線LAN運用について
- ②地域の魅力を動画で
- ③医療費抑制・適正化について

●田嶋 均

- ①市のインフラ整備構想について

●中矢 寿子

- ①がんばル〜ムについて問う
- ②地域情報化計画について聞きたい
- ③行政評価システム事業について

請願の審査結果

▼請願第22号（採択）

「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願

深谷市岡3184番地
生活クラブ生活協同組合
深谷支部
委員長 坂田 雅美

▼請願第23号（取り下げ）

特定秘密保護法案の徹底審議を求める意見書採択についての請願

深谷市宿根543番地1
安破葉深谷実行委員会
事務局長 内川 幸一

人事案件

●人権擁護委員に

吉澤 正則氏（再任）
新井 和子氏（再任）
糸井 達男氏（再任）

深谷市人権擁護委員候補者の推薦について異議ない旨回答しました。

議員全員協議会

コミュニティバス「くるりん」の新運行の案、固まる

平成27年4月1日～
平成32年3月31日
●運行日：毎日運行
（年末年始6日間除く）

●今後の検討事項

具体的な運行経路やバス停等について、市民からの意見等を踏まえ検討

●その他報告事項

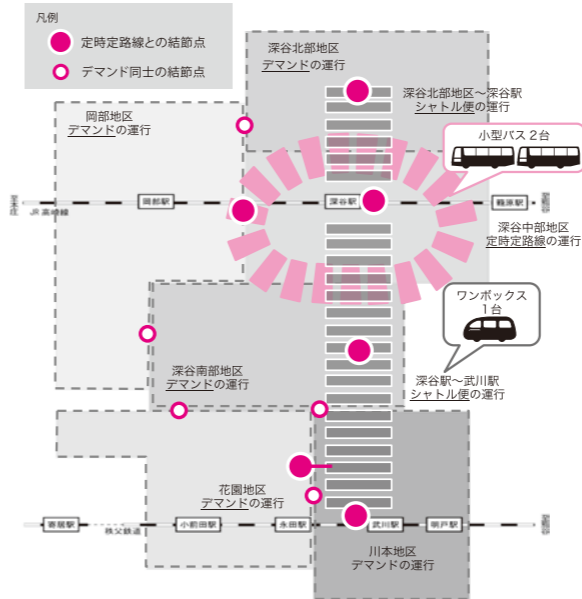
- (1)総合振興計画、前期基本計画の検証結果
- (2)平成26年度組織改正
- (3)市立保育園民営化の進捗
- (4)その他

平成27年3月に期限を迎える「くるりん」の新運行について、深谷市地域公共交通会議で協議されていましたが、この程基本計画が示され報告がありました。

●主な目的

地域の実情に即した輸送サービスの実現

●運行期間：5ヶ年



◆ 12月定例会 議案に対する各議員の賛否 ◆

議案名	会派名(※)													審議結果												
	武井伸一	加藤温子	小森秀夫	柴崎重雄	馬場茂	永田勝彦	高田博之	仲田稔	新井清	須藤邦男	為谷剛	加藤利江	石川克正		村上由朗	松本政義	中矢寿子	五間くみ子	三田部恒明	清水睦	清水修	村川徳浩	田嶋信吉	田嶋均		
行政組織条例の一部を改正する条例	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
ふかや緑の王国条例	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
保育園条例の一部を改正する条例	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
学童保育室条例の一部を改正する条例	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
ふれあい市民農園条例を廃止する条例	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業集落排水処理施設条例等の一部を改正する条例	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
仙元山公園遊園地条例の一部を改正する条例	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の無償譲渡について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の無償譲渡について	○	○	○		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の取得について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の無償譲渡について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の廃止について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の認定について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般会計補正予算（第4号）	○	○	○		○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の廃止について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特定秘密保護法案の徹底審議を求める意見書採択についての請願の取り下げ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	許可
深谷市議会の議決すべき事件を定める条例	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※会派名は、共産は日本共産党、彩新は彩新連合です。
※議長は同数のみ採決に参加します（○は賛成、×は反対、欠は欠席）

Q

深谷市上原地区排水路の悪臭が恒常的である早期改善を

A

指導機関へ根絶を働きかけていく

ながた 永田 かつひこ 勝彦

問 深谷市上原548番地に介護施設設置と聞く。規模建築確認の運びは。

答 本年9月、2858㎡にデイサービス施設として開発許可が下りた。

問 排水路は勾配に難点、悪臭の温床。住民は毎戸100万円を拠出した水路。安易な利用は迷惑、同時に寂しい。

答 排水路の勾配を調査する。また、事業者へ地元説明等を指導していく。

花園IC拠点整備プロジェクト進捗状況は

問 人口減少や流出等、本市の魅力や活力が低下し看過できない。大きな決断と行動を起こさなければならぬ。

答 本市は人口減少傾向、就業者数の減少、買い物客の市外流出も深刻、農業は高齢化し担い手不足。以上の状況改善が急務。花園ICの交通優位性を活かし、活性化策として「花園IC拠点整備プロジェクト」を立案した。プロジェクトの目的は通過点となっている花園ICを目的の地に換え、多くの来場

問 者を深谷市内に呼び込み、財源の確保、雇用の創出、観光や農業の振興、地域経済の活性化を図ることである。

問 経済効果等外部調査名、進捗状況並びに経済効果推計結果は。

答 埼玉りそな財団に委託完了した。来場者による効果は246億円、税収効果は1億1000万円超と試算。

問 成長するには人・物・金の取り込みが重要。工業団地の商業版と考える。

答 市内経済活性化のため、構想段階だが、理解・協力を望みたい。

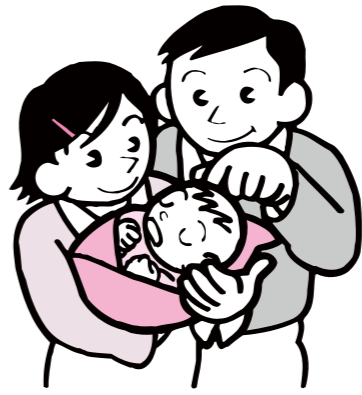


「赤ちゃんに家庭を」特別養子縁組は行政の仕事と思うが

現行の埼玉県の実施方法に則り児童相談所と連携していく

加藤 利江

子供がほしくても授からない、そして授かったが色々な事情で育てられない。このような方々のために深谷市も愛知方式を取り入れて行政の仕事として特別養子縁組に取り組むべきと思うが。



時に把握し、こども青少年課の窓口でも相談に応じている。市としては、里親委託における愛知方式と、その他の実施方法の利点及び課題を踏まえつつ、現行の埼玉県の実施方法にのっとり、児童相談所と連携して乳児期早期の虐待死亡防止に努めていく。



花園IC拠点整備プロジェクトについて

愛知方式として注目されている、出産直後の里親委託の趣旨は、児童虐待による死亡の多くが、出産直後及び新生児期に発生している状況を改善すること、子供に恵まれない人にとって、新しい家庭を築く機会を提供することであり、子どもの精神発達上重要である。深谷市においては、望まない妊娠など問題のある妊娠は、母子手帳交付

花園IC拠点整備プロジェクト開始とあるが。当プロジェクトの目的は、観光拠点を整備し、市内の産業と経済の活性化を図るというものである。その目的を達成していくためにも、その核として、集客力が高く、多くの雇用が見込まれるアウトレットモールを誘致する計画となっている。

これからの深谷はどうなる

市民と行政で「協働のまちづくり」を進める

よしだこうたろう 吉田幸太郎

小島市政4年間で出来た事業、やり残した事業は何か。

中学三年生までの子ども医療費の無料化等の「福祉・健康・医療」分野、学校施設の耐震補強等の「教育・生涯学習・文化」の分野で進捗が図れた。進んでいない事業としては、「岡部地区の砂ぼこり対策の防風林植樹」等がある。また、「日本大学スポーツ健康学部誘致」については外的要因を調査・分析し、適切に対応する。

今後4年間で何に重点を置き、深谷市をどんな方向に導こうとしているのか。

後期基本計画に基づき、医療体制・インフラの整備、教育環境の充実、地域産業の活性化を推進する。

財政運営の健全化に向けて、どのように考えているのか。無駄と非効率を排除し、事業の選択と集中を進めて財政規模の適正化を図る。さらに、自主財源を確保するため、新エネルギー対策や企業誘致に先行投資を行う。



市内小学校の耐震補強進む（岡部小学校）

中学校部活動の大会派遣費補助は、どうなっているのか

経費の実態を把握し、適切な支援が行えるよう検討する

清水 健一

市内中学校では、毎年、延べで90の部活が県体に出場していて、交通費などの負担が大変だとの声を聞くが、派遣費補助は、足りているのか。

学習指導要領の改訂により、部活動が学校教育活動に位置付けられたことを踏まえて、経費補助の見直しを行っていく。

児童保育の現状と今後の整備は？

待機児童は何人いるのか。

家から遠い等の私的な理由で3名。小学校、全ての敷地内に児童保育を整備していく方針のようだが、今後の整備計画は、また対象となる児童は、

対象を小学校就学児すべての児童とし、教育委員会との連携の下、待機児童を出さないよう各小学校敷地内に、計画的に施設を整備していく。

女性の活躍支援を、どう行うのか

女性の活躍推進をどう考え、就労支援を行っているのか。

月曜と木曜の週2回、内職相談を行っている。また、県と共催で就職支



深谷若者サポートステーション（旧七ツ梅酒造）

若者の就労支援の現状と方策は？

深谷若者サポートステーションの実績と今後の課題は。

ニートやひきこもり、中途者の支援を行い49名が就労できた。今後もPR活動等、全面的に支援していく。

アウトレット誘致にあたっての土地利用の整合は

開発に向けた整合はとれている

まつもと まさよし 松本 政義

農業振興施策である国営幹線工事の進捗状況は。

荒川中部地域では、国営事業で実施した玉淀ダム等の施設の老朽化が進み、水を送る能力や安全性が低下していることから、平成18年度に「櫛挽地区農業農村整備事業推進協議会」を設立して、幹線水路の改修工事の地区調査を行い、平成23年度に地権者の意向確認を行った。平成25年度に全体実施設計を作成する。平成26年3月頃から地権者の同意を得て、平成26年度中に事業着手の予定である。

にビニールハウスや養豚場などの農業施設があるが、事業の進捗状況に合わせて、農業経営に影響や支障が出ないよう個別に対応する。また、隣接する地権者にも十分説明し、計画を進めていく。

開発プロジェクトと農業が両立できるのか

開発区域は国営事業の受益地に含まれていないのか。

平成23年度の意向確認時には含まれていたが、市が平成25年7月に開発プロジェクトを発表したときには、総合的に判断し受益地に含めないこととした。

周辺の農業施設への影響は。プロジェクトの計画エリアの内外



Q 市が積極的にスポーツ振興を

A スポーツ係ではスポーツに関する支援を実施している

武井 伸一

子供から高齢者まで幅広くスポーツを通して市民の体力向上と、健康増進のスポーツ振興をもっと積極的に行うべきだと思うが。



う、体育協会や、レクリエーション協会、スポーツ推進委員の協力を得ながら、支援を行っており、今後も市民の体力向上と、健康増進のスポーツ振興を行っていく。

障害者向けのスポーツ施設はあるのか、どんな障害者向けのスポーツ振興を行っているのか。

本市にはない、県内に2施設ある。毎年障害者向けの深谷市ふれあいスポーツ大会を開催している。全国障害者スポーツ大会や、彩の国ふれあいピックの呼びかけを行っている。今後福祉サービスの提供と、スポーツを通し体力の維持及び、健康増進、社会参加の促進を図っていく。



本市におけるスポーツ、レクリエーション活動としては、体育協会の23種目、レクリエーション協会は12種目、スポーツ少年団では10種目、53団、の方々が活動している。また、このようなスポーツレクリエーション団体活動とは別に、公民館事業や他の団体でも、高齢者を含むスポーツ、レクリエーション活動が行われている。教育委員会としては、公民館事業も含め、子供から高齢者まで色々なスポーツ、レクリエーション活動に参加できるよ

Q 人口減少時代の都市再編・まちの集約化

A 深谷らしい「集約型都市構造」の実現を目指している

為谷 剛

郊外の住宅地は住民の高齢化に直面し、中心市街地も人通りが減り、いわゆるシャッター商店街も少なくなっている。集約化の実現には施設の統廃合や住民の住まいの移動など大胆な変更が必要となるが、行政指導だけで中心部へ移住を促し、まちを集約するやり方には限界も見え始めている。まちを中心部に集約する一方で、市の中心部から少し離れた地域でも、公民館などの公共施設の維持が負担になっている。一律にまちを中心に集約するのではなく、住民の暮らしに沿った柔軟性が大切と思うが。

本市では、平成23年度に策定した「深谷市都市計画マスタープラン」において、議員の指摘のとおり、一律にまちを集約させるのではなく、「深谷らしい集約型都市構造」の実現を目指している。具体的には、深谷駅周辺の中心市街地を都市の競争力をけん引する広域的な機能を担う「都市拠点」とし、上柴地区、岡部駅周辺、武川駅周辺及び小前田駅周辺を地域の生活を支える機能を集積した「地域拠点」とし



深谷駅前

（一般質問記事の掲載は、通告順です。）

Q 市独自の環境保全条例の制定を

A 許認可に制限をかけることは困難

清水 修

市内本田地区の山林で、建設残土の搬入をとまう太陽光発電設置のための林地開発が行われている。大量の建設残土が搬入されているが、地域住民は「どんなものが運び込まれているのか。産業廃棄物は混入していないのか。など不安であるが、不安の声をどこに寄せていいのかわからない。市民の不安を取り除くために、開発許可の事前にも一定の手続きを必要とする環境保全条例の制定を。

出金、国保連合会からの交付金などで賄っているが、不足分については一般会計からの繰入金で補っている。保養施設利用補助制度の創設は新たな財政負担になるので考えていない。

現在、県内の少なくとも自治体でも一般会計から繰入れを行っており、事業を実施しない理由にはならない。補助制度を創設する考えはない。

開発行為への事前対応として、許認可権限のある機関へ市の関係部署ごとに意見を提出しており、事業者はこれに基づき開発行為を行っている。開発での苦情については、法令に基づき事業者に行行政指導しており、許認可権者に対し、市条例を制定し、許認可の要件を制限することは困難である。

国保加入者の健康の保持・増進を

保養施設利用補助制度の創設で国保加入者の心身の保養による健康の保持・増進を図るべきでは。

国保の財源は、国保税や国・県支



Q 高齢者の住宅リフォーム助成制度はどのように創設するのか

A 新規事業と位置付け、適正な制度設計に取り組んでいく

清水 睦

助成件数が少なくなることと個人の資産に助成できないからである。

介護保険見直しについて

社会保障審議会介護保険部会で見直し案を示した。150万人が利用する要支援者向けサービス全廃は取り下げたものの訪問・通所介護は市町村の行う事業に移すという、市に移管された時の対応は、どうするのか。

法改正後においても引き続き要支援者に対する適正なサービスが提供できるよう、保険者である大里広域市町村圏組合と必要な対応を協議していく。



その他の住宅リフォームはどうするのか。

特定の業界に絞った景気対策は考えていない。

県内34市町で実施しているのになぜ深谷市はできないのか。



（議会あれこれ）議員も熱が入ります！・・・12月議会の一般質問は3日間。延べ61人の方が傍聴にいらつしました。）

Q 「地域包括ケアシステム」構築、どこが取り組む？

A 市独自の地域包括ケアシステム構築を目指す

五間くみ子

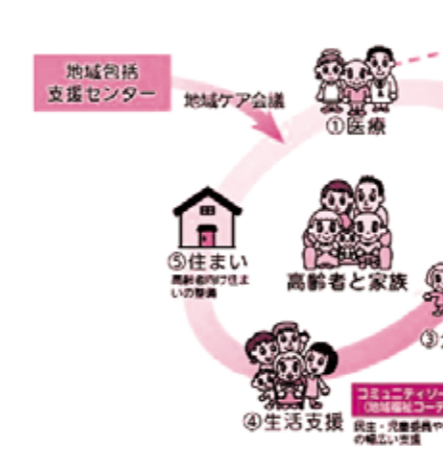
問 高齢者施策の中でも重要な介護予防事業の課題や今後の取り組みは。

答 十分な事業の周知を図るとともに、市独自の一次予防事業として「市内スポーツクラブと連携した介護予防教室」や「認知症予防教室」などに取り組んでいく。

問 「地域包括ケアシステム」は、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることのできる社会の実現を目指すものであり、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に構築していくこととしている。地域包括ケア構築にむけた市の姿勢は。

答 基本的には大里広域が適切な指導監督を行っている。しかし、市の担っていく役割も大きいことから大里広域と連携を図り、育成に努めていきたい。

問 地域包括ケア実現のための重要な一つの手法に、地域ケア会議があるが、どのような会議体としていくのか。



Q 市民が利用しやすいグラウンドに

A 動向に注視し研究していく

田島 信吉

問 市は近隣市町とグラウンド等、公の施設の相互利用協定を結んでいるが、川本市内天神グラウンドテニスコートの利用者が使用料改定後の今年4月以降急増し、特に10月末には深谷市以外の利用率が47%となり市内6ヶ所のグラウンドの平均も40%と高くなりみ合っている。市民が利用しやすいよう受付方法や使用料など検討すべきと考える。

答 11月末現在、市内8ヶ所のテニスコートの市外利用率は26%と前年同期に比し7%増加しているが料金改定後8ヶ月の経過であり、今後の動向を注視し市民が利用しやすい方法を研究していく。

重忠太鼓等の団体に補助金を

問 畠山重忠太鼓や踊りの団体等に対する補助金は、旧川本町から深谷市に継承されていたが、3年前に団体に係る費用が「経常費であり事業費ではない。」と認定したとの理由で廃止された。活動は事業費と認められるべき経費も多く地域振興や郷土愛の醸成など貢献も顕著だ。補助金交付を考えられないか。

答 既存の文化財保存事業の後継者育成事業補助金等の適用は創設後、日も浅く難しい。市では今後も、平成24年度に開催した事業のように重忠太鼓を応援していきたい。



川本天神グラウンドテニスコート

Q 東京五輪、パラリンピック、市のおもてなしの考えは

A 国、県、周囲の動向を注視する

加藤 温子

問 東京五輪の波及、経済効果を深谷市に誘導する気があるのなら「今からでしょ」サッカー予選会場は埼玉スタジアムである。波及効果予想は2兆9600億円、観客予想850万人である。仙元山サッカーグラウンド、ビッグタートルとトレーニングルームを活用し、練習会場に手を挙げないのか。

答 国、県も詳しい計画が決定していない。周囲の動向を注視していく。

問 深谷の名所、旧跡、伝統芸能、郷土料理と野菜の収穫体験、緑の王国等、バスで観光おもてなしプランの考えは。

答 少しでも深谷市に来てほしい。地元の魅力を発掘、発信していく。ふっかーゴの活用も含め検討していく。

問 県にアンテナショップ進出提言を。連携をとって、やっていきたい。

答 全国学力、学習状況調査

問 全国学力テスト、市の現状及び公表の範囲は。

答 市内各学校の判断で独自の調査結果を公表は。



Q 公共施設での公衆無線LAN(Wi-Fi)サービス開始を

A 目的、経費、効果及び防災対策の観点も含め調査・研究していく

三田部 恒明

問 公共施設でモバイル端末などのインターネット接続を可能にするため、公衆無線LANサービスを開始すべき。

答 通信事業者による公衆無線LANの拡充、民間事業者によるサービスや製品の多様化と拡大が予想される。災害情報や安否確認などの情報発信手段としても有効であると認識している。

問 チャンネルふかやの更なる充実を

答 現在、市政情報・祭りイベント・歴史文化・ふっかちゃんメニューで計57本を掲載。市民との協働の観点については、後期基本計画の中でも取り組むべきホームページ改善への一施策と位置づけしており、見て楽しめる動画配信の充実に向け研究していく。



Channel

※データヘルスとは医療保険者によるデータ分析に基づく保健事業で、レセプトや健診データを分析し、保険者ごとの特性や課題に即した効果の高い保健事業を企画立案し実施していく。

行政視察

福祉文教委員会 10月8日～10月10日

愛知県蒲郡市 障害者の就労と自立支援「社会福祉法人愛知太陽の家」
岐阜県岐南町 学校給食の無料化
滋賀県大津市 いじめ防止条例



清水 加藤 三田部 柴崎 吉田
健一 重雄 幸太郎

市民産業委員会 10月7日～10月9日

宮城県栗原市 市内体験交流プログラム
宮城県気仙沼市 「食」を活かしたまちづくり・復興商店街
岩手県奥州市 住民票のコンビニ受取対応



村川 加藤 中矢 馬場 永田 倉上 松本
徳浩 温子 寿子 彦 勝彦 由朗 政義

総務委員会 10月8日～10月10日

北海道登別市 行財政改革プラン
北海道北広島市 新庁舎建設
北海道千歳市 防災学習交流センター「そなえーる」



新井 清水 石川 高田 仲田 田嶋
均 博之 克正 修 清

議会だより視察受入れ

11月6日



栃木市議会広報紙発行特別委員会8名
調査事項
委員が紙面作り、どの程度関わっているか

主な行事 (平成25年10月～12月)

Table with 3 columns: 10月, 11月, 12月. Rows list dates and events such as '深谷市産業交流施設 オープニングイベント', '議会運営委員会行政視察', '環境都市委員会', etc.

問 9月定例会の企業誘致に関する私の質問に対し、執行部は市が用地を買収造成し進出企業に譲渡する工場誘致になぞらえ「産業拠点創出費用」(36億円+a) 全額を市が負担し、固定資産税、市民税、転賃借による差額等(年額合計2億円)により回収するとの答弁をした。28ヘクタールの地権者との売買・賃貸借交渉、農地の除外・転用と造成費さらに秩父線への新駅設置交渉と費用の全額負担まで行ない、その後進出希望企業を公募する意義は何か。改めて問う！ 深谷市方式と類似したアウトレット開発手法は、どれだけの自治体で実施したのか。



問 佐野、木更津についてはどうか。
答 UR(当時国の事業)を採用したため費用負担は一切ない。
問 企業誘致における市の財政負担や将来に向けての危険負担等を考慮し、構想の見直しは可能か。なぜ公募を先に行わないのか。理由があるのか。
答 現在構想段階のため詳細は決まっていない。今後様々な議論を積み上げ市の財政負担を考慮しつつ、市及び市民にとって最良の案を模索する。

Q アウトレット誘致についての市の本気度を問う
A 地域活性化のための新たな産業拠点づくりの核である
田嶋 均



がんばル～ム

問 市で行う事業なのに学校によって利用教室や開催日数に、大きな差があるようだが不公平ではないのか。
答 利用する教室や開催の有無等は、各校の諸事情により決めている。
問 学校の諸事情という中に「がんばル～ム」への認識・位置づけの違いがあるように感じる。公平な運営をするための、判断基準書等必要と考えるが。
答 提言として受け止め、今後は、学校、ちいさの先生等と今まで以上に協力しながら事業運営をしたい。

Q 「がんばル～ム」運営の公平化を！(判断基準が必要と考えるが！)
A 今まで以上にちいさの先生、生涯学習、学校が協力しながら運営を行う
中矢 寿子

問 外部評価委員会、今後の展開は？
答 今後も継続するならば、市民協働事業という点からも市民への周知が大事と思う。インターネット放映や、日程等を検討すべきではないか。
問 外部評価委員会においては評価した施策・事業に対する提言のほか外部評価委員会の在り方等についても提言をいただいている。外部視点を加えるという観点から、今後も継続していく。周知方法については、活動自体の意義、成果を周知する方法について検討していく。

ふかや市議会だよりは、点字版とテープ・CD版も発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会(TEL573-6563)へご連絡ください。

一般質問記事の掲載は、通告順です。



3月定例会の日程のお知らせ
2月24日▶3月19日

平成26年3月定例会は次の日程で午前9時から開催する予定です。

2月	24日(月)	開会・議案説明
	25日(火)	議案説明
	28日(金)	議案質疑
3月	3日(月)	//
	4日(火)	総務委員会
	5日(水)	市民産業委員会
	6日(木)	福祉文教委員会
	7日(金)	環境都市委員会
	12日(水)	一般質問
	13日(木)	//
	17日(月)	//
	19日(水)	採決・閉会

※日程は変更になる場合があります。詳しい内容は議会事務局(市役所3階)までお問い合わせください。
 ・TEL 048 (574) 6662
 ・FAX 048 (574) 6673

議会インターネット配信

議会中の生中継・録画配信

<http://www.fukaya-city.stream.jfit.co.jp>

編集委員会

委員長	五間くみ子
副委員長	村川 徳浩
委員	清水 修
委員	清水 睦
委員	中矢 寿子
委員	武井 伸一
委員	加藤 温子
委員	加藤 利江
委員	倉上 由朗
委員	新井 清

ボランティアさん紹介

ここでは市内で活動されているボランティアさんを紹介しています。

「深谷市災害ボランティア」のみなさん



深谷市災害ボランティア

深谷市災害ボランティアは、110名のボランティア団体です。深谷市内外で災害が発生した際にボランティアとして可能な範囲内で活動しております。また、友好都市の新潟県南魚沼市に雪かきボランティアとして毎冬訪問しております。今年の雪かきボランティアは2月12日(水)・16日(日)・18日(火)を募集しております。いつ、どこで起こるか分からない災害に備え、平時より災害や防災に関する研修等を行い、いざ災害が起こった時には、被災地で活動を行います。

少しでも興味をお持ちの方は、社会福祉協議会までご連絡ください。
 TEL 573-6563

【表紙の写真】

昨年12月2日にオープンした「花園生涯学習センター・花園公民館・花園総合支所」です。

この施設は、だれもが使いやすいユニバーサルデザインに配慮し、自然の光や太陽光発電を取り入れたエコ施設となっております。

災害時には、避難所として自家発電機を備えるなど地域防災の拠点となります。



編集後記

議会で審議された内容を皆さまに伝えることも議会の重要な責務と考えております。

議会だよりがその一助となればと思います、多くのかたに關心を持って読んでいただければ、記事やレイアウトなど毎号工夫しております。

今年は午年です。空高く駆ける馬のごとく、深谷市においても飛躍の年となるよう、深谷市議会一丸となって取り組んでまいります。

倉上 由朗